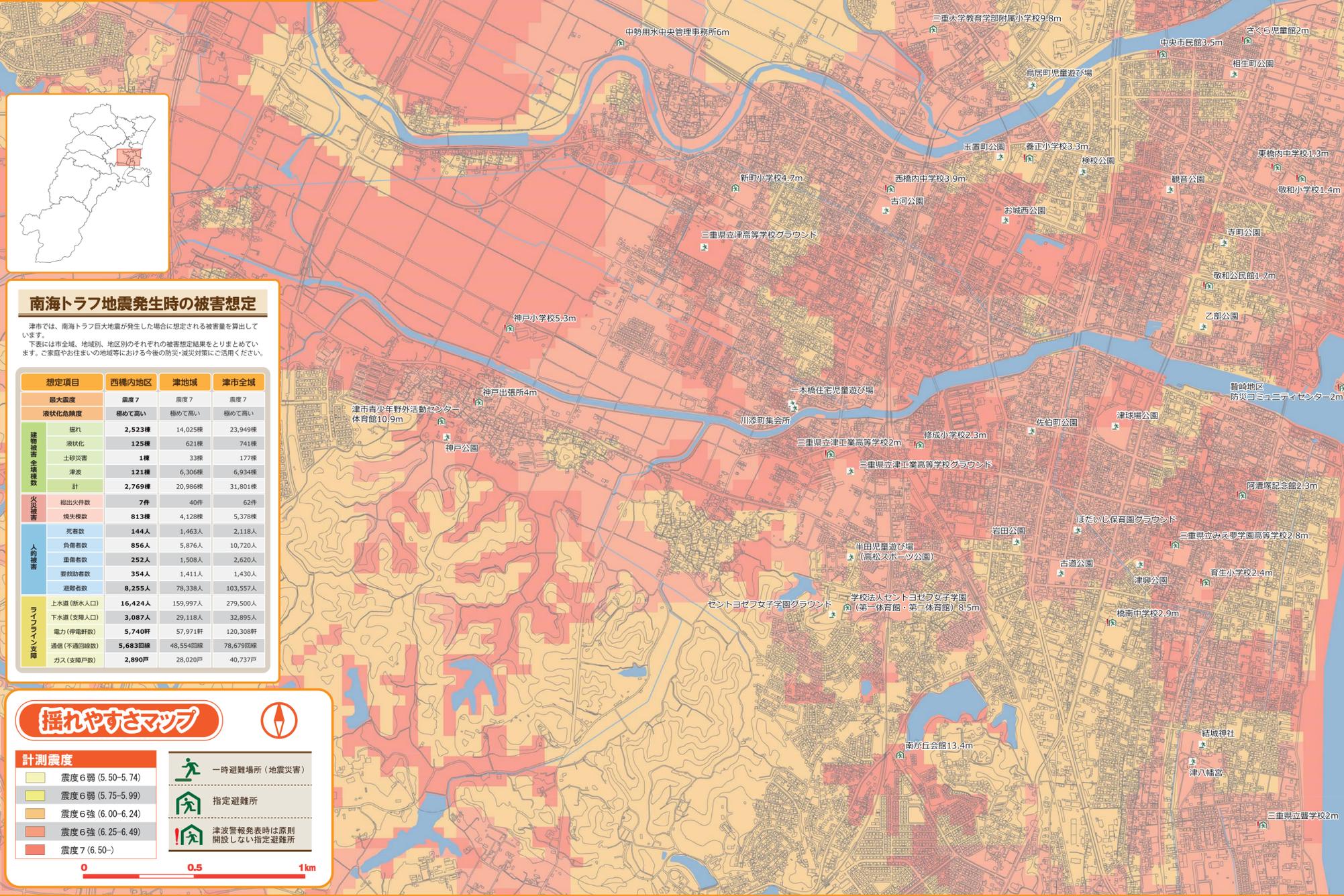


西橋内地区【養正・新町地区】



南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。下表には市全域、地域別、地区別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめ、ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご利用ください。

想定項目	西橋内地区	津地域	津市全域
最大震度	震度7	震度7	震度7
液状化危険度	極めて高い	極めて高い	極めて高い
建物被害全棟棟数			
揺れ	2,523棟	14,025棟	23,949棟
液状化	125棟	621棟	741棟
土砂災害	1棟	33棟	177棟
津波	121棟	6,306棟	6,934棟
計	2,769棟	20,986棟	31,801棟
火災被害			
総出火件数	7件	40件	62件
焼失棟数	813棟	4,128棟	5,378棟
死者数	144人	1,463人	2,118人
負傷者数	856人	5,876人	10,720人
重傷者数	252人	1,508人	2,620人
要救助者数	354人	1,411人	1,430人
避難者数	8,255人	78,338人	103,557人
避難所(耐水人口)	16,424人	159,997人	279,500人
下水道(処理人口)	3,087人	29,118人	32,895人
電力(停電軒数)	5,740軒	57,971軒	120,308軒
通信(不通回線数)	5,683回線	48,554回線	78,679回線
ガス(支障戸数)	2,890戸	28,020戸	40,737戸

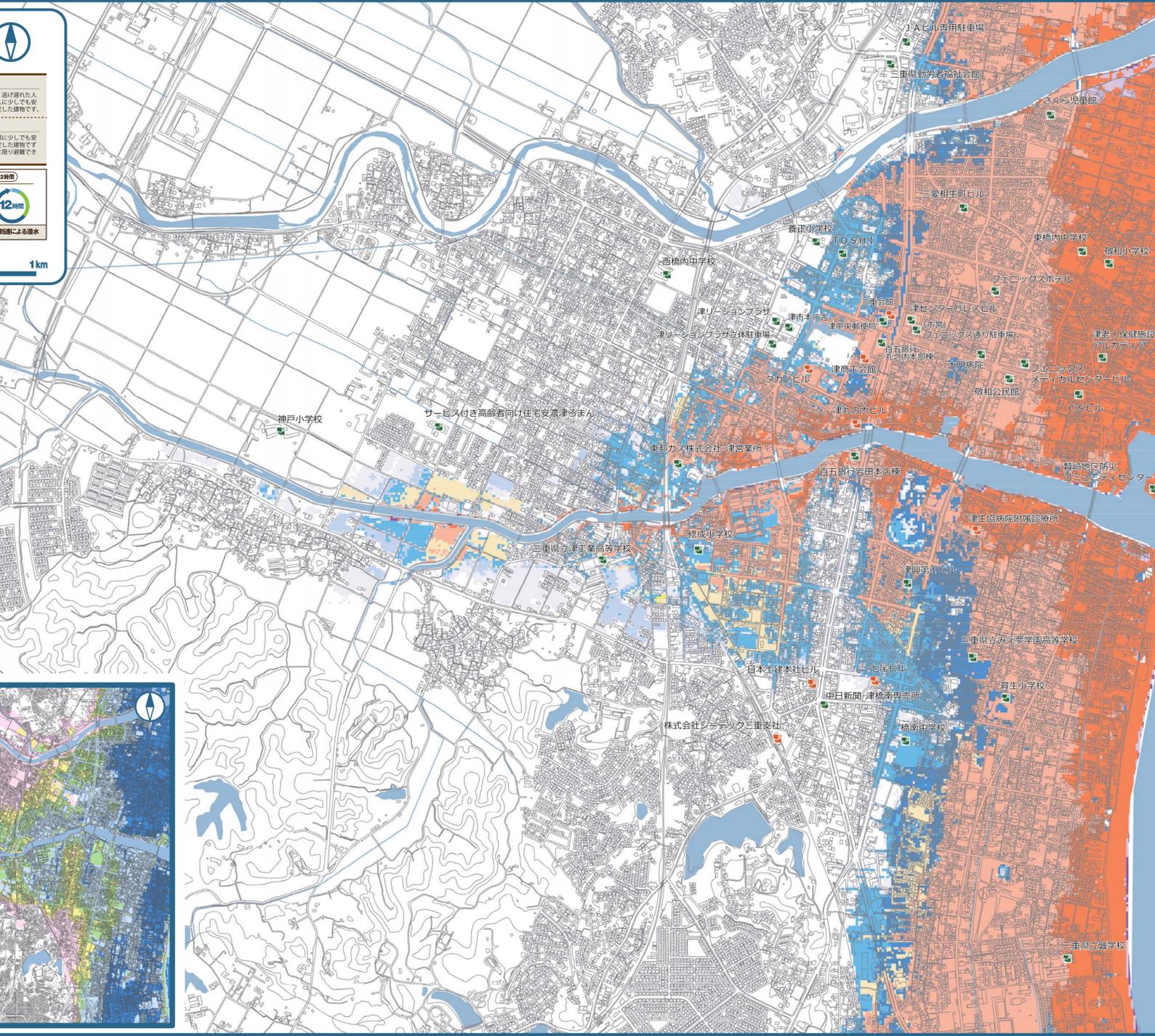
揺れやすさマップ



津波浸水時間マップ【30cm津波浸水時間】



- 津波避難のころえ
- 「避難は徒歩が原則」
自家の車やバイクなどにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるため、歩いて避難をしましょう。
 - 「想定にとらわれない」
想定以上の災害が起こることもあります。想定にとらわれず、その時の状況を見極めることが大切です。
 - 「率先して避難する」
勇気を出して率先して避難すれば、その姿を見て周りの人も避難するようになり、多くの人の命を救うことができます。
 - 「最善を尽くす」
自分は大丈夫、ここまでは大丈夫ではなく、その時できる最善の行動をとりましょう。
 - 「地域での協力が大切」
お住まいの地域の自治体の方々に声をかけて、一緒に避難するなど、ご近所でお助けしましょう。
 - 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってきます。避難するときは、河川から離れる方向に避難をしましょう。
 - 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても遠くまで避難できない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。



この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2011 三重県共有デジタル地図(数値地形図縮図 10,000)」を使用し、調整したものである。(承認番号: 三総地第58号)